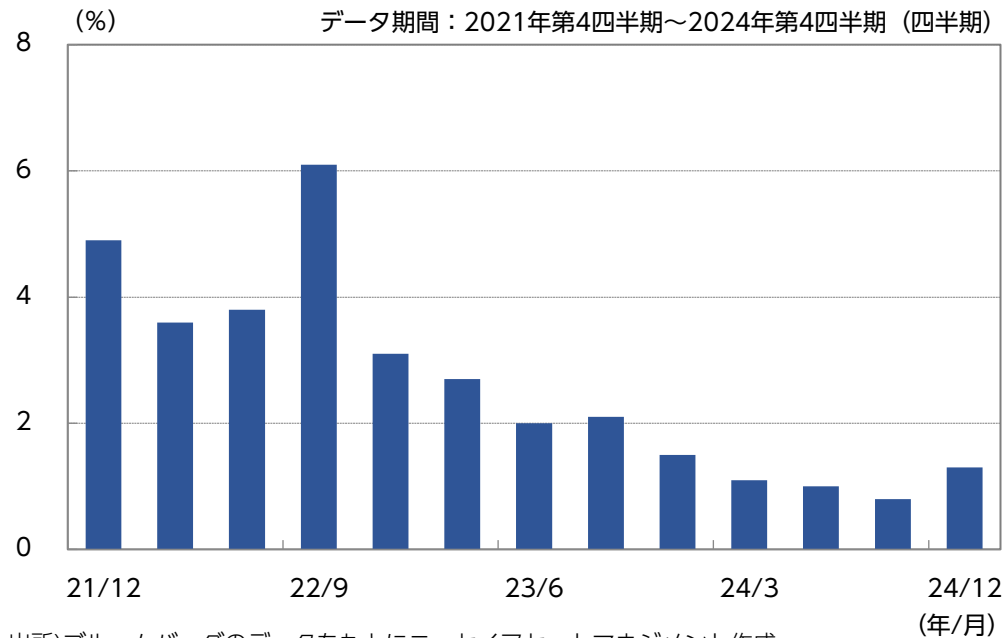
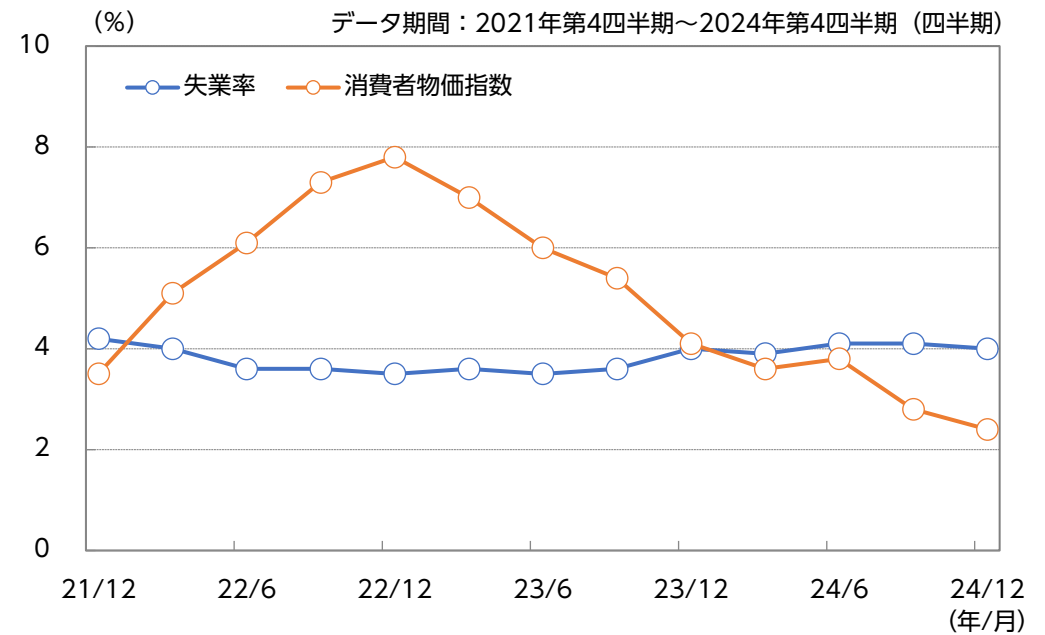


- 2024年7月に実施された減税策が家計所得にプラスの影響を与えているほか、2025年2月に実施された利下げにより消費者心理や景況感は回復すると予想されます。

【実質GDP成長率(前年同期比)の推移】



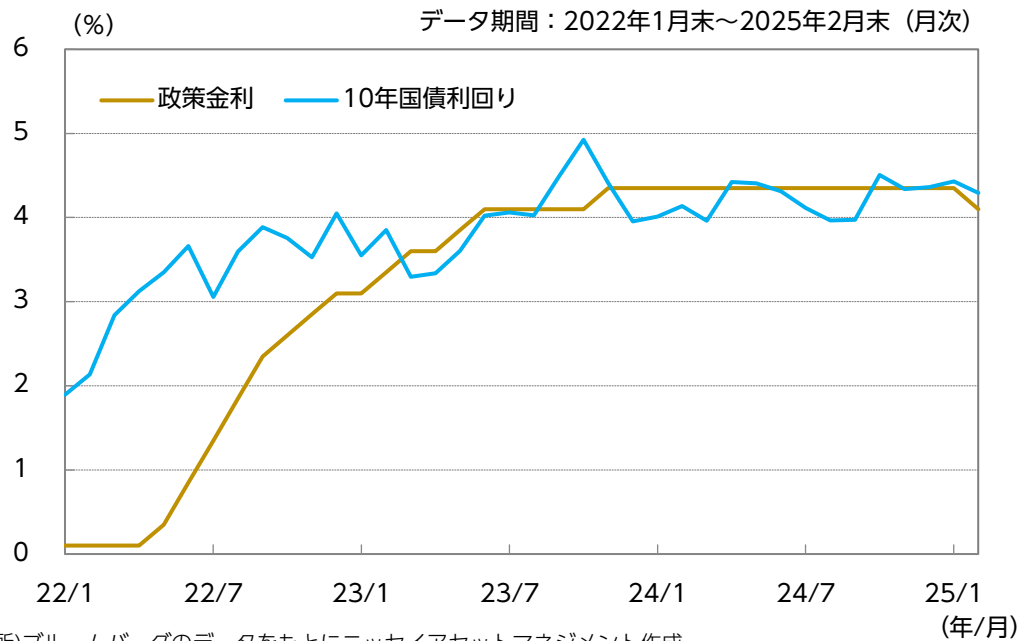
【失業率と消費者物価指数(前年同期比)の推移】





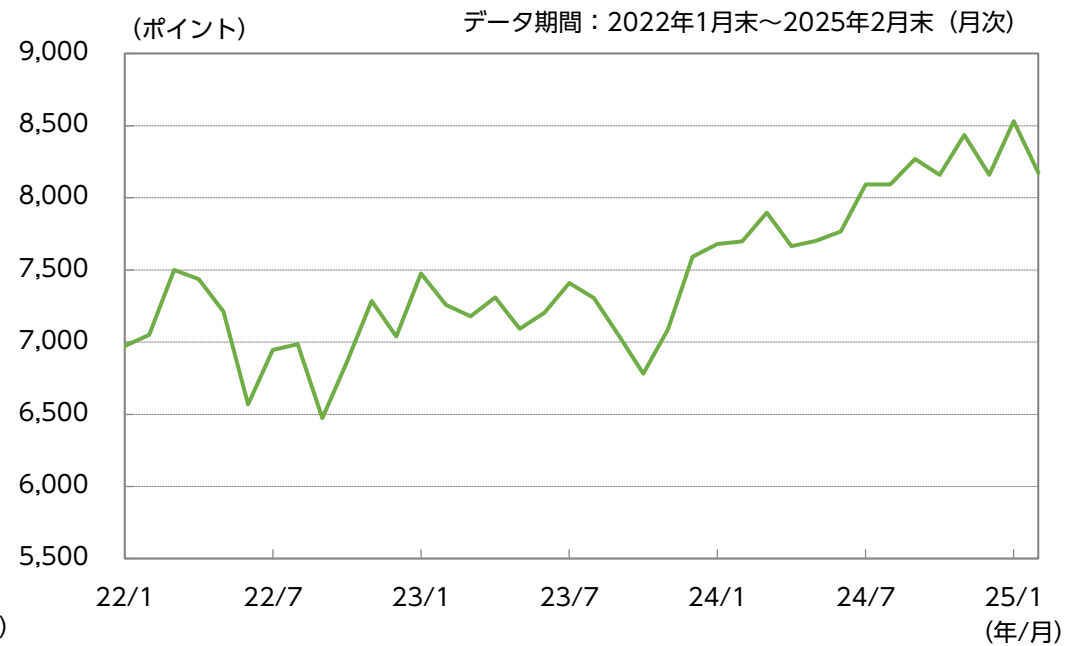
- 2月の豪州債券市場の利回りは低下（価格は上昇）しました。RBAは2025年2月の定例理事会において、政策金利を0.25%引き下げました。豪長期金利はRBAの金融政策の方向性に左右される展開が続くと予想されます。
- RBAの利下げにより消費者心理や景況感は回復し、株価は堅調に推移すると考えられます。

【政策金利と10年国債利回りの推移】



出所)ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

【S&P/ASX200指数の推移】

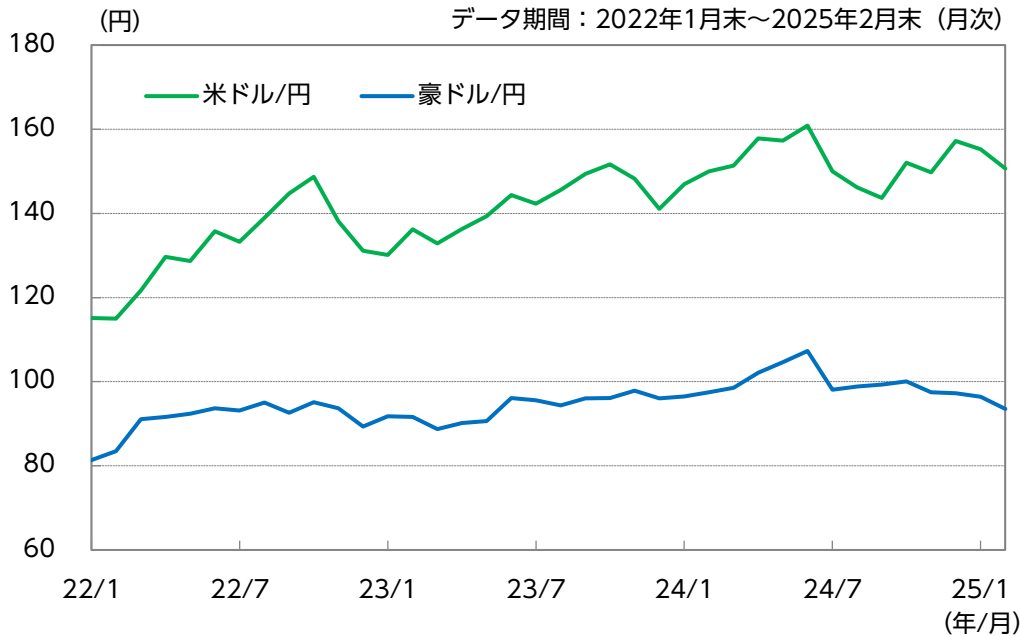


ご留意いただきたい事項 ●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものです。●投資信託は値動きのある資産を投資対象としており、基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割込むおそれがあります。ファンドによって投資対象資産や投資規制、投資対象国などが異なるため、リスクの内容や性質が異なります。また、投資信託のお申込時、保有期間中、およびご換金時には費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料に記載されている各指数、統計資料等の著作権・知的財産権その他一切の権利は、各算出先、公表元に帰属します。●当資料に記載されている内容は作成日現在のものであり、今後予告なく変更される場合があります。なお、各種データは過去に遡って改訂されることがあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断ください。●当資料のグラフ・数値等は過去の実績であり、将来の市場環境の変動や投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

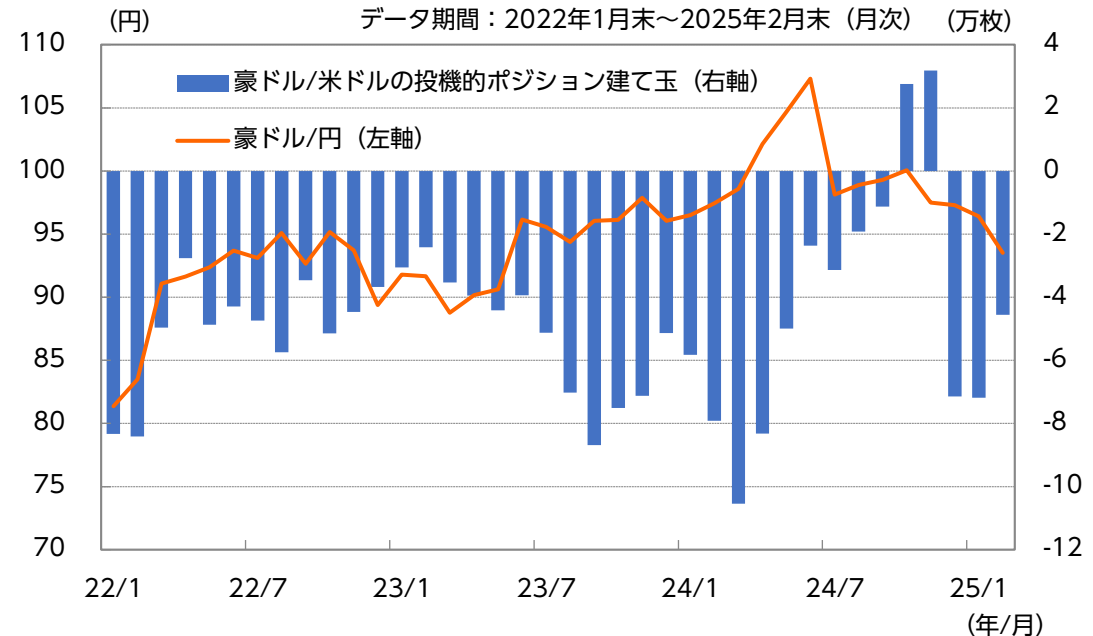


- 2月末の豪ドル/円は93.52円、前月末比で2.99%豪ドル安・円高となりました。
- RBAおよび日銀の今後の金融政策のスタンスには注意が必要ですが、オーストラリア経済の安定性、相対的に魅力的な金利水準などを背景に、豪ドルは対円で底堅く推移することが予想されます。

【米ドル/円と豪ドル/円の推移】



【豪ドル/円と対米ドル投機的ポジションの推移】



出所)ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

ご留意いただきたい事項 ●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものです。●投資信託は値動きのある資産を投資対象としており、基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割込むおそれがあります。ファンドによって投資対象資産や投資規制、投資対象国などが異なるため、リスクの内容や性質が異なります。また、投資信託のお申込時、保有期間中、およびご換金時には費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料に記載されている各指数、統計資料等の著作権・知的財産権その他一切の権利は、各算出先、公表元に帰属します。●当資料に記載されている内容は作成日現在のものであり、今後予告なく変更される場合があります。なお、各種データは過去に遡って改訂されることがあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断ください。●当資料のグラフ・数値等は過去の実績であり、将来の市場環境の変動や投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。